



2006年3月5日(日)「衣張山・祇園山ハイキング」を行いました。今年は“鎌倉”を歩こうという企画の第2弾。

逗子駅からバスに乗り、“逗子ハイランド西友前”で下車。ここから歩き始めます。逗子ハイランドという住宅地を約15分歩くとハイキングコースの入口があります。山道を15分ほどで衣張山山頂に到着しました。ここからの眺めは素晴らしく、海はもちろん、江ノ島、富士山、大船観音などがはっきりと確認できます。山を下ったら、報国寺の美しい竹の庭を觀賞し、釈迦堂切通しへ寄り道して、金沢街道を歩き、小町大路から祇園山ハイキングコースに侵入します。高さは、民家の二階の屋根の少し上という程度なのですが、コースの難易度は上級クラスでちょっとスリルがあって面白い！なぜか祇園山の山頂はなく、展望台を経て、ハイキングコースの終点は、神社の中でした。しかも、鎌倉駅までは500メートル。

知らなかった“鎌倉”まだまだ奥が深そうです。



もっと歩かせて！

今年は“鎌倉を歩こう”と思い立ち、1月に「六国見山ハイキング」を行いました。大雪の翌日ということもあり、参加者は小野さんと町田の2人でした。しかも、アツと言う間に下山してしまいました（大雪とコースミスもあり）。昨年12月の「弁天山ハイキング」から“なんだか物足りない”という声が聞こえているような気がするの、どうも気のせいではなさそうです。3月は鎌倉と決めて、さてどこを歩こうか？ガイドブックをめくりますが、歩行時間は平均1時間30分。これでは、さらに物足りなくなってしまう。じっくり寺巡りというのもちょっと違うしなあ。そこで、衣張山ハイキングと祇園山ハイキングを結んで今回の企画となりました。

ハイランドとは...

朝8時30分、小田急線町田駅改札前には、小野さん、桜井さん、加藤夫妻、向山さん、佐藤さん、改札の中に宮部夫妻、そして町田の9名が集合しました。小田急線で藤沢へ行き、藤沢で東海道線に乗り換えて、次の大船で横須賀線に乗り、逗子に着いたのは、9時45分。逗子ハイランド方面へ向かうバスは、6番乗り場から“逗子ハイランド循環”で次は、10時15分でした。じたばたしても仕方ありません。バスの発車時刻までおとなしく待ちます。ところで、“逗子ハイランド”とはいったい何なのでしょう？“富士急ハイランド”のような遊技施設を連想させる名前です。でも、聞いたことがない。かなりマイ



ナーな地元の遊園地かしら？バスが“ハイランド”に近づくとそのナゾが解けてきます。高台の住宅地でした。そして、バスを降りた逗子ハイランド西友前バス停は、この地域に住む人々のための小さなショッピングセンターでした。りっぱな桜並木のメイン・ストリートの坂を上り、上りきった交差点を左へ進むと鎌倉の町が見下ろせる展望が広がる遊歩道にぶつかりました。左は名越切通しへ通じるハイキングコースですが、今回は右に進み、左側に現れる衣張山へのハイキングコースを行います。



立体地図を斜め上から見る感じ

わくわくとした気分で山道に足を踏み入れて10分足らず、展望の素晴らしい広場に到着しました。ここが山頂かな？あまりにもあっけなくてガッカリしそうなところなのですが、鎌倉の町を自分の庭のように見下ろす景色がそれを打ち消してくれます。海に向かって立つと右方向に稲村ヶ崎の出っ張りがあり、その後ろに江ノ島が座っています。海岸線を手前にたどっていくと、あの辺りが材木座で、この正面が披露山かな。鎌倉城主のような気分でしたら、巷を眺めて出発します。すると、再びさっきと同じような広場、ここが山頂でした。展望はさらに広がり、大船観音も小さく顔をのぞかせていました。そして、江ノ島の右の方にうっすら富士山が確認できます。

衣張山という名前の由来は、“鎌倉時代、暑い夏にうんざりした鎌倉幕府の要人たちが、この山頂に白絹を張り巡らし雪に





見立てて、遠い都の冬の山並みを偲んだ故事によるらしい。鎌倉の町からよく見える山にせめて視覚からだけでも涼を得ようとしたようだ”ということ。私たちの場合は、かすんだ富士山を見つけて春の到来を感じたところで、お弁当という気分になっていました。時刻は11時30分、歩いた時間もわずかでしたが、身体は素直に反応します。

12時過ぎ、食事を終えて下山開始。すぐに分岐があり、左は、山頂を巻いて下りるようなコース、右は階段で一気の下るコースで“展望コース”となっていました。左が展望コースだと思ったのですが、とりあえず右の道を下ります。階段を下りきると、表札のように“石切場跡”とされ、その他なんの説明もない不思議な洞窟がありました。石切場跡を越えると先程の道と合流し、心地よい勾配で10分もすると山道は終了してしまいました。



200 円の“竹の庭”

突き当たりは“田楽辻子の道”という名の小道で、右折して報国寺へ向かいます。小さな川が脇を流れる、遊歩道のように整備された道をしばらく歩くと報国寺の山門に着きます。山門の前には、観光用の2人乗り人力車が数台停車していました。鎌倉らしい景色ですが、“料金はどのようになっているんだろう？”と思わずにはいられませんでした。報国寺といえば“竹の庭”が有名ですが、竹林拝観200円……、もちろん中に入ります。手入れの行き届いた竹の庭は、それほど広くはありませんが、すっきりとさわやかに心あらわれるような、雄大さと美しさがあります。思わずシャッターをきるというより、みとれて、声が出て、写真を撮らなきゃという順かな。





人混みにおぼれそう

報国寺を出て、来た道を戻り、次は“釈迦堂切通し”へ。ゆっくり歩いて15分、荒々しい岩肌をくり抜いた大きな洞門に着きます。ここが釈迦堂切通しで、鎌倉時代に浄明寺の屋敷町から大町・名越の商業地区を結ぶために造られたもので、名前の由来は、第3代執権北条泰時が父・義時の菩提を弔うため釈迦堂をここに建てたことによるのですが、その場所はいまだにわからないそうです。切通しはくぐらず、再び引き返して、バス通りの金沢街道に出ます。すると、さすが鎌倉、観光客の人混みにまぎれます。鶴岡八幡宮に近づくにつれ賑やかになるのですが、それから逃れるように小町大路に入り、さらに左折して“北条高時腹切りやぐら”へ向かうのは、私たちぐらいでした。



鎌倉幕府終焉の地から

滑川を東勝寺橋で渡り、しばらく行くと東勝寺跡。1333年、14代執権北条高時は遊行にうつつをぬかし、幕府は衰退し、新田義貞に攻められ、北条氏の菩提寺であった東勝寺に火を放ち



自害しました。そこが、北条高時腹切りやぐらです。そして、ここが“祇園山ハイキングコース”のスタート地点です。時刻は14時、“これからハイキング？”と思うかもしれませんが、鶴岡八幡宮から鎌倉駅まで歩く距離を、ちょっと小高い山道で移動するだけです。

腹切りやぐらの横の木段を上り、やぐらの上を乗り越えて進みます。コースの左側に道路が現れ、民家の屋根と同じ高さくらいの場所を歩いています。心地よいアップダウンを繰り返しながら延びる尾根道ですが、人の手が増えられず、自然がむきだしなので、スリルがあって退屈しません。どこが山頂なのかわからないまま、“祇園山展望台”に到着しました。衣張山からの眺めの視点を右下に移動したという感じでしょうか。それほど感動はなく、山を下りることにします。ガイドブックでは“再び標識まで戻り”となっているのですが、そもそも標識は存在しません。展望台を出てすぐに左へ下る道と展望台への分岐を逆方向へ進んだところから下る道が存在しました。コースミスしないようになるべくガイドブックに忠実に後者の道を下りましたが、結局両者は合流し、さらにほんの10分で八雲神社境内の裏手に到着。八雲神社は、鎌倉で疫病が流行し、多くの人々が苦しむ様子をみた源義光が京都祇園社の祭神をここに勧請したのが始まりと伝えられる、鎌倉最古の厄除け神社で





す。たぶん、ここの裏山を祇園山と呼んだのだと思います。そして、展望台が山頂に違いありません。

奥が深い“鎌倉”

八雲神社を出てすぐ右折してしばらく行くと右に赤い門と「ぼたもち寺」という名前が印象的な常永寺がありました。なんでぼたもち寺かというと、“文永8(1271)年、幕府に捕らえられ龍ノ口の刑場に引き立てられる日蓮に、この地に住んだ栈敷(さじき)の尼が、供養としてごまのぼた餅を差し上げたことに由来するそうです。この後、日蓮は刑場に連れて行かれますが、奇跡が起こり死罪を免れ、佐渡に流罪となりました”とあります。中には入らず、さらに進むと妙本寺の山門があり、右へ行くと境内でしたが、パスして左折し駅へ向かいました。そのまま本覚寺の横を通り、鎌倉駅に着いたのは15時ちょっと前。

もろろん行ったことはある鎌倉ですが、まだまだ知らない場所がたくさんありそうです。そして、歴史がからんでくると...(?)。次はどこを歩きましょうか。

町田行弘	229-1103	神奈川県相模原市橋本 5-29-12 メゾン・アン・ソレイユ 201 042-773-7415
小野勝彦	194-0041	東京都町田市玉川学園 8-22-2 042-725-8403
桜井利子	194-0001	東京都町田市つくし野 1-32-17 042-796-9591
加藤忠	194-0033	東京都町田市木曽町 651-1 市営 1-201 042-727-8949
加藤純代	194-0033	東京都町田市木曽町 651-1 市営 1-201 042-727-8949
宮部忠和	192-0363	東京都八王子市別所 1-103-15 0426-78-0666
宮部香与子	192-0363	東京都八王子市別所 1-103-15 0426-78-0666
佐藤忠夫	192-0364	東京都八王子市南大沢 2-12-3 0426-76-6246
向山三郎	194-0204	東京都町田市小山田桜台 1-735-2 042-797-4329

